

公益財団法人8020推進財団

平成24年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：妊婦歯科健診の4年間の報告とアンケート調査

2. 申請者名：堀 真治（一般社団法人厚木歯科医師会 専務理事）

3. 実施組織：一般社団法人厚木歯科医師会 会長 田中恭三、専務理事 堀真治  
神奈川県厚木保健福祉事務所部長 北原稔、厚木市役所健康づくり課課長 重田良充  
同係長 大貫美香、中之郷歯科診療所長 安福美昭、  
東京医科歯科大学 教授 和泉雄一、萩原さつき、片桐さやか

4. 事業の概要：

妊娠期に口腔内を検査することで、早期に口腔内疾患の治療と予防指導が可能となり出産後に発生する歯科疾患の頻度を低くすることができる。最近の研究では歯周病と早産等が関連するとされている。受診者の追跡調査することで、妊娠出産と歯周疾患の関係を実証し市民に妊婦歯科健診の重要性を周知する。

妊婦歯科健診データ；口腔内診査齲歯、歯周病ポケット測定値、プラーク量、歯石量、唾液潜血反応ほか  
受診者に対するアンケートデータ；年齢、出産週数、胎児体重、喫煙、飲酒の状態、事業の効果ほか、  
上記2つのデータから歯周疾患と妊娠・出産との関連性を統計処理により確認する。

5. 事業の内容：

**調査対象**；平成21年6月1日から平成24年3月31日の間に、厚木市の妊婦歯科健診（厚木歯科医師会への委託事業）を受診した妊婦1,321名のうち、転居、住民票未登録者の除く本評価研究（調査）事業の趣旨を理解し、妊婦歯科健診での診査結果データ（検診票一別添）の個人情報の使用許可の同意が得られた協力者（回収337名）に対するデータをベースとして解析した。

**情報の還元・提供**；妊婦歯科健診評価研究（調査）事業により得られた情報は、厚木市民、厚木市、厚木歯科医師会、厚木保健福祉事務所に還元する。厚木市民には「歯っぴいタイムズ」の紙面により結果を公表。

6. 実施後の評価（今後の課題）

厚木市妊婦歯科健診事業は次世代を育むべき妊婦にとって、見落としがちな口腔内の状態を気づかう重要な契機となっている。また、本事業の改善すべき点や妊娠、出産状況と歯周病等の口腔状態との関連性も確認されるなど、今後、妊婦歯科健診や妊娠・出産期に歯周疾患コントロール体制整備等に有用な貴重なデータが得られた。

・とくに、多変量解析の結果で、妊娠・出産と統計学的に有意な関連性が得られた口腔状態は以下であった。

①妊娠中の異常（切迫早産等）は、年齢と同時に4ミリ以上の歯周ポケット数と関連する（ $P < 0.05$ ）

歯周ポケットのある者には約2倍の妊娠中の異常が発生していた。

②早産は、4ミリ以上の歯周ポケット数、未処置歯数（少なさ）、第3大臼歯（4本ある）と関連する（ $P < 0.05$ ）

・受診者の意見・要望から、妊娠と口腔状況の関係やケアの方法等の説明が強く期待されている実態から、今後、検診時の指導用パンフレットの作成の検討などこの研究事業の結果を反映したい。